

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館
〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan@city.midori.gunma.jp

公民館に集まろう!! 中学生対象の主催講座開催

3DCGを作ろう デジタル技術を体験



▲イメージネーションを形にする3DCG

「出張tsukurunみどり市」が1月6日(土)に笠懸公民館で開催されました。市内中学生が対象で、6人が参加しました。「tsukurun」とは、前橋市にあるクリエイティブ人材を育成するための施設です。小中高生が無

料で最先端のデジタル機材やソフトウェアに触れることができます。今回は、3DCG(3次元コンピュータグラフィックス)で、身近な物を制作する体験をしました。パソコン上で立体図形を回転、拡大・縮小して組み合わせ、着色して、作品を形作ります。画面を真剣に見つめながら、メガネ、卓球のラケット、ブランコなど、参加者は思い思いに制作しました。最後に作品を主催のデジタルクリエイティブコンテストに応募し、教室は終了しました。中学生にとって、将来の仕事を考える貴重な機会になったのではないのでしょうか?

料で最先端のデジタル機材やソフトウェアに触れることができます。今回は、3DCG(3次元コンピュータグラフィックス)で、身近な物を制作する体験をしました。パソコン上で立体図形を回転、拡大・縮小して組み合わせ、着色して、作品を形作ります。画面を真剣に見つめながら、メガネ、卓球のラケット、ブランコなど、参加者は思い思いに制作しました。最後に作品を主催のデジタルクリエイティブコンテストに応募し、教室は終了しました。中学生にとって、将来の仕事を考える貴重な機会になったのではないのでしょうか?

古典を知り 人生を豊かに!!

笠懸公民館の主催講座

「ホントは楽しい中学古典(裏読み・深読み・斜め読み)」が、1月28日(日)に視聴覚室で開催されました。

講師は元東中学校校長の三ツ屋雄一さん。対象は市内在住・在学の中学生と高校生で、8名が参加しました。

講座は令和の元号の出版となった「万葉集」から始まり、「竹取物語」「おくのほそ道」「枕草子」などどれも一度は耳にしたことのある作品ばかりです。子どもたちに馴染みのある漫画やアニメの作品にも、古



▲古典の魅力を語る三ツ屋先生

典作品からのパロディーが実はたくさんあるということとを講師が一つ一つ紹介すると子どもたちは驚いていました。

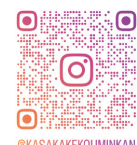
この講座は中学校の国語の授業で習う作品を題材に、古典の持つ魅力を授業とは別の角度で触れ、古典に親しみを持つってもらうことが目的の一つです。

「現代と古典を関連付けて教えてくれて、とても分かりやすかった」と語る中学生の楽しそうな顔がとても印象的でした。

※インスタグラムでは講座当日の様様をより詳細に公開しています!!

笠懸公民館 SNS 紹介

① Instagram



フォローしてね!!

② YouTube



文化祭の動画UPしました!!



お手持ちのスマホでぜひご覧ください!!

日本の伝統を体験

お母さんと一緒教室

笑顔いっぱい
お正月遊び

新しい年が明け、おだやかな日となった1月12日(金)「お母さんと一緒教室」が笠懸公民館で開催されました。

今回は凧揚げとカルタ取りです。最初にみんなで仲良く「あいさつ」。「おめでとうございます」の音が明るく元気に飛び交います。



▲たこふたこふがあがれえ〜



▲未来のカルタ名人誕生?!

早速、凧揚げ用の凧を作ります。先生が用意してくれたビニール袋にはかわいいアンパンマンの顔が描いてありました。クレヨンを使ってお母さんと一緒にきれいに色を塗りました。袋の底に2本の長いテープをしっぽに見立てて付け、持ち手を紐で結び、しっかりと持てるようにしました。「さあ、でき上った凧を揚げに行きましょう!!」芝生広場で、作ったばかりの凧を持ってみんなだかけっこです。空気が少し冷たくても、子どもは風の子、お外が好きなんです。心

鬼は外!福は内!

2月1日(休)は節分の「豆まき」です。最初に鬼のお面を作ります。画用紙に描かれた鬼の顔に好きな色を塗ります。次に顔の形に切り取り、頭に被るため、輪ゴムの耳かけを取り付けました。

鬼のお面が出来上がったから、先生があらかじめ作っておいた豆を入れるかわいい箱に紐を付け、首から吊るせるようにしました。

さあ!!出来上がった鬼のお面を被り芝生広場に鬼退治に行きましょう。少し風

ゆくまで遊んだ後はお部屋に戻って、カルタ取りです。

先生が読み札を読むと、子どもたちはかわいい絵札を探します。「こっち、こっち!!そこ、そこ!!」とお母さんたちも一緒になって楽しみました。

お正月には欠かせない懐かしい遊びを思い出させてくれたひとときでした。

が冷たいけれど、芝生広場は小さな子どもたちの楽しそうな声が響きます。みんなが遊んでいると、突然、赤鬼と青鬼が「泣く子はいないかあ」と大きな声を張り上げながら現れました。びっくりした子どもたちは大騒ぎ!!泣き出す子、お母さんにしがみついたり離れない子、それでも勇敢に戦う子。しばらく続いた鬼との戦いは、お母さんたちに手

伝ってもらい見事勝利!!

鬼がすぐすこ逃げ帰っていくと「バンザイ」とみんなで大きな声で叫びました。

怖くて楽しかった鬼退治も終了。記念撮影には笑顔が輝いていました。



▲鬼もこっそり混ざってハイち〜ず



▲泣く子はいねが〜!?

米粉が奏でるグルテンフリーの魅力

「野菜ソムリエが贈るグルテンフリークッキング」(全3回)が1月13日(出)にスタートしました。15組が参加し、初回は米粉のクリームシチューと米粉のマフィンを作りました。講師は、昨年11月の市民講座でも講師を務めた市内在住の野菜ソムリエ、北村裕美子さんです。

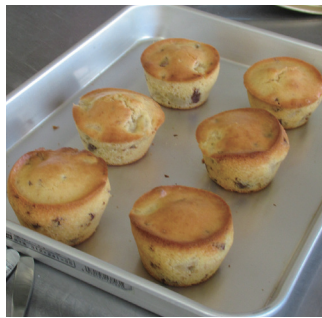
シチューは食材を炒めて煮込み、仕上げとして米粉を混ぜた豆乳を鍋に注ぎ入れます。マフィンも材料を混ぜてオーブンで焼きます。参加者は声を掛け合いなが

ら、わきあいあいとした雰囲気です。調理を進められた。できあがった料理は、みんなで試食。「美味しい」「やさしい味がする」など感想を言い合いながら楽しい時間を過ごしました。



▲おいしくなあ〜れが

食べ終わった後は、グルテンフリーに関するミニ講座や質問タイムがあり、講師の説明を、みなさん興味深く聞いていました。第2回(1月27日(出))・第3回(2月17日(出))と回を重ねるごとに親睦も深まりました。みなさんも、グルテンフリークッキングを实践してみたいか、がどうでしょうか？



▲マフィン完成

防災を考える

39

災害支援のカタチ

災害が起きた時、被災地向けて何ができるのか？今回の能登半島地震で考えさせられた人は多いと思います。

毛布や食料を送ろう、ボランティアに行こう。

その思いは大切ですが、まずは被災者目線で考えてください。刻々と状況が変わる被災地では、支援物資やボランティアの受け入れ態勢が十分でない、余計に現場を混乱させてしまう場合もあります。よく調べた上で自分にできる事を考えましょう。

手軽にできる募金やふる

さと納税、義援金、支援金、ネット募金などを検討してみたいか、がどうでしょうか？笠懸公民館にも募金箱ありますよ。



笠懸公民館利用者の会

理事募集中！！

任期：令和6年4月～令和8年3月(2年)

「利用者の会」は、笠懸公民館を利用する人たちのふれあいと相互理解を深め、誰もが楽しく気持ちよく公民館を使えるよう、より良い公民館運営をめざして様々な行事に取り組んでいます。そんな利用者の会の運営を一緒にやってみませんか？

理事の仕事は…

- ・利用者懇談会や大掃除の企画や運営
- ・利用者の声を公民館へ伝える橋渡し
- ・その他、利用者の交流を広げる行事などを行っています。



問い合わせは、利用者の会理事または笠懸公民館(☎76-2211)へ。

利用者懇談会の報告 vol.1

昨年11月25日(出)に開催の利用者懇談会でいただいた意見を紹介します。

△今後も数回に分けて連載予定



【公民館はなぜ無料？】

公民館は地域の人が集まる場所だから、お金がある人もない人も、誰もが平等に使えるために無料、という意見が多かったです。

中には、市の財政が厳しくなったら有料でも仕方ないのではないかと、という意見もありました。



【あいさつ運動をしよう!!】

また、地域の人が集まるのだから、あいさつ運動をしてはどうか、という意見がありました。

公民館には、以前に利用者の会で「あいさつ運動」のポスターを貼ったものが何枚ありますが、新調して枚数を増やし、引き続きPRします。



二十歳の誓い 輝く未来への一歩

冬晴れの1月7日(日)に5年ぶりに、みどり市全地域の二十歳を迎えた青年が集まり「令和6年みどり市二十歳の集い〜式十祭〜」がグンエイホールPAL(笠懸野文化ホール)で開催されました。

須藤市長はお祝いのことばの中で「大きな夢を持ってこれからの人生を歩んでもらいたい。自分の中で描きながらチャレンジしてみてください」と述べ、また



▲みどモスと共に歩む新たな一歩📷

通してみどり市に恩返ししたい」と決意を語っていました。恩師からのビデオレターが放映されると会場は懐かしさと、恩師の変わりように歓声が上がっていました。終了後、外でみどモスと写真撮影するなど、喜びをみんなに分かち合っていました。

「100年前に作られた童謡『ふるさと』の3番の歌詞は、今のみどり市にとてもよく似ている。夢が実り志を遂げた時には、ふるさとみどり市に帰って来てください」と話しました。

恩師代表による励ましのことばでは「何事にも努力して欲しい」などの激励がありました。

二十歳の誓いでは、代表の橋本佳樹さんが「みどり市での思い出一つひとつが今の私を動かす力となっている。現在、医師を目指して勉強をしており、医療を

コラム 豆電球

果物と野菜の違い

木になるのが果物ということだが、そうなるスイカやメロンは野菜になってしまふわけだ。行政上の分類では、茎やつるなどの草本植物が野菜、樹木になるものが果物とされているようだ。果物という言葉の語源は木のもの(くのもの)だといわ



れている。ここから行政上の分類はきているのかもしれない。印象的にはスイカやメロンは果物だが、実際地方自治体の生産調査等では野菜に区分けされること少なくないようだ。

いる。また、全国農業協同組合連合会(JA)では、実だけを食べるのが果物で、植物のいろいろな部分を食べるのが野菜として定義しているみたいだ。定義上では木になるのが果物ということになるが、フルーツトマトの誕生や、サラダ用のパイヤが店頭に並ぶようになるなど、果物と野菜の境目が年々微妙になっているのも確かだ。

今年も熱戦!!

上毛かるた大会

第64回笠懸町子ども会上毛かるた大会(笠懸町子ども会育成会連合会主催)が1月14日(日)、笠懸公民館で開催されました。町内1区10区の代表が小学生低学年(3・4年生)、高学年(5・6年生)、中学生に分かれて熱戦を繰り広げました。

勝ち抜いた上位選手たちは翌週の21日(日)、第16回みどり市子ども会上毛かるた大会(みどり市子ども会育

成会連絡協議会主催)に出場。みどり市代表として県大会出場をめざし、全員が読み手の声に集中して札を追っていました。

各区によって違いはあるものの、子どもの減少により参加者集めにも苦労しているようです。上毛かるたの読み札「ち」の「力あわせ」の二百万も、30年

ぶりに「百九十万」に変更されました。76年の歴史の



▲仲間との絆を胸に・・・

中で人口減での下方修正は初だそうです。

恒例新春イベント ジビエ料理登場

新春の恒例行事「2024年みどり市新春の集い」が1月4日(木)に笠懸公民館の1階ロビーで開催されました。みどモスもお祝いに駆けつけ、会場の皆さんとあいさつを交わしていました。



▲ご賞味あれ

市議会や各種団体、地域の関係者が出席し、新たな年の幕開けを祝いました。須藤市長はあいさつの冒頭、元日に発生した能登半島地震の犠牲者への哀悼を述べ、惜しめない支援をしていきたいと話しました。また「時代がどんどん変化している。そして、その時代にあった行政サービスが自治体に求められている。変化に対応するため未来に

みんなで お正月を味わおう

笠懸町第2区は1月7日(日)、4年ぶりの「もちつき」を行いました。

穏やかな天気で、住民は集まってくると新年のあいさつをかわし談笑していました。

婦人会がもち米を蒸し、役員や子どもたちがもちをつく。つきあがると育成会の人たちが手際よくもちを



▲よししょ〜😊

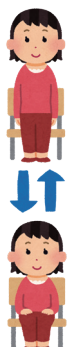
向かって職員一丸となって前に進みたい」と述べ、「働く場所がなければ子どもたちは帰ってこない。それでは、雇用も納税も生まれてこない。市単独でなく地域と連携することによって課題の解決につながる」と考える。より一歩成長できるようにお力添えをいただきたい」と来場者の皆さんに呼びかけていました。

会場に設けられた特設ブースでは、みどり市の特産品の紹介や、市内で獲れたシカ肉のジビエ料理などがふるまわれていました。

足の筋力きたえる!!

みどり市母子保健推進員会は1月12日(金)、桐生大学グリーンアリーナで『心も体も元気になるコツ』と題して研修会を行いました。講師は理学療法士の高橋佑介先生です。

運動不足や老化、座り仕事などで足の筋力は衰え、さまざまな支障が出てきます。日本は寝たきり大国と言われており、1カ月寝込むと筋肉は50%低下するそ



うです。その予防として「起立・着席の動作」を勧めていました。先生の勤務する施設では高齢者がこの動作を200回は行っているそうです。参加者は脳トシを交えて、ゆっくり立ったり座ったりを「ももにきくね〜」と言いながら100回実践しました。家で毎日できる簡単動作で健康寿命延伸を!

地区公民館だより⑨

笠懸町第9区

9区公民館は、区民の活動の拠点や地域の交流の場として、多くの方にご利用頂いています。

特に今年度は四年ぶりとなる納涼祭も開催する事ができました。「未来を担う子ども達のためのお祭り」をおこなう事を念頭に準備を進め、各団体や関係者・

OBの方からもご協力を頂き、八木節や模擬店、カラオケや抽選会など、多くの

方が楽しめる納涼祭となりました。

その他にもグラウンドゴルフ大会やボウリング大会、育成会主催のクリスマスパーティーなど、幅広い年齢層の方が楽しめるイベントを行っています。

また、各団体による活動も活発で、様々な交流や会合の場としても広く活用されています。

これからも、区民の皆さんと協力し、地域に貢献出来る公民館として維持・発



▲活動の拠点・交流の場(9区公民館)

展させていきたいと思えます。

こえの ひろば

NEW
かさかけ
どうぶつ家族①
いっちゃん(7区)



▲お散歩だいすき♡

犬のいっちゃん(本名い
ちな)は毎朝笠懸公民館ま
での散歩が日課で、今年15
才とは思えぬほど軽快な足
取りで毎朝公民館に一番乗
りしてお友達を待っています。

いっちゃんといつも散歩
するのは隣に住んでいるお
じさんです。いっちゃんの
飼い主さんが足を悪くして
散歩ができなくなったので
いっちゃんをかわいそうに
思ったおじさんが何年も

あなたも家族(ペット)を紹介しませんか!?

新企画『かさかけどうぶつ家族』では、皆様の大切なペットを紹介するための募集を行っています。この機会に、あなたの愛するペットをたくさんの方々に紹介しませんか?

募集対象 犬・猫・小動物など、どのような種類の動物でも OK

応募方法 笠懸公民館まで電話またはメール

☎0277 (76) 2211

✉kouminkan@city.midori.gunma.jp



QRコード



このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

「家族」として毎日いっしょに散歩してくれています。春の足音とともに今日もいっちゃんは笠懸公民館に一番乗りです。

テクテクお城歩き(45)

金沢城 歩遊人

石川県にある金沢城は日本100名城のひとつです。また、近接して日本三大公園のひとつ兼六園(水戸の偕楽園、岡山の後楽園)があり、いつもにぎわいを見せているようです。

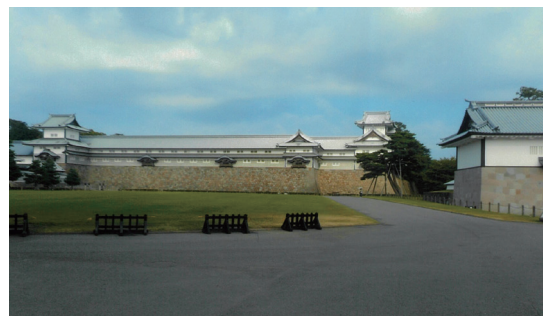
資料によれば、金沢城は1580(天正8)年、加賀一向一揆の拠点であった金沢御堂を織田信長軍の佐久間盛政が陥落させ、そこに城を築いたようです。

1583(天正11)年、前田利家が入封し金沢城を加賀支配の拠点とすべく、近世城郭へと改修したようです。そして、基本的な縄張りを行ったのは高山右近といわれています。天守は



▲金沢城石川門

1602(慶長7)年、落雷による火事で焼失したため、その姿は記録がなく不明ですが、天空に屹立する天守の姿を想像するだけでも楽しいですね。また、兼六園は五代藩主前田綱紀のときに造られたようで、今日でもその造形美は多くの人に感動を与えてくれますね。そして、現存する三十間長屋、復元された五十間長屋、菱櫓などがみどころですね。



▲五十間長屋

歌あり、演奏あり、踊りあり!
みんな集れ!
音楽の力で町を元気にしよう!

石原和三四ゆかりの地で 歌う! 奏でる!

春の音楽祭

2024年 3月31日(日)
10時~16時(終日)
童謡ふるさと館
(みどり市東町座間 367-1)
入場料:500円(小学生以下無料)

童謡ふるさと館 HP @MIDORI.ONGAKU

主催:みどりの音楽実行委員会・童謡ふるさと館
お問い合わせ:0277-97-2721(東公民館) 080-2642-7412 担当(天野)

列車にゆられて(68) 新京成電鉄線

野利 哲

地方の小中私鉄ではありませんが、千葉県内を走る準大手の新京成電鉄は常磐線松戸駅から京成電鉄京成津田沼駅間を結んでいます。全線26・5kmあり、駅数は24あります。走っては止まり、止まっては走るという郊外路線で京成電鉄の子会社です。

路線の大半は旧日本陸軍鉄道連隊が演習用に敷設したもので、第二次世界大戦

後、京成電鉄への払い下げを経て民間利用されているようです。

小さなカーブが住宅街に連続し、駅間距離が短いので列車の速度はそれほど高くない。軌間は1435mmで、JRの新幹線と同じゲージです。JRの在来線のゲージは1067mmなので車内は広く感じられます。

車窓からの街並みはモノクローム的な感じ。車内は6両編成で

8800形、8900形、N800形等が日中は10分毎に始発駅を発車しています。全線電化

▲出発進行

区間で新津田沼、京成津田沼間は単線(1.2km)ですが、残る区間は複線でした。車両基地はくぬぎ山駅構内にあり、日中は多くの車両が休んでいます。運賃は松戸、京成津田沼間 280円。お得なキップは期間限定で一日乗り放題 500円。

一緒に『かさかけ公民館だより』を作ませんか？

笠懸公民館報編集協力員 大募集!!

- ◆ 応募方法 笠懸公民館窓口または電話・FAX・メール
- ◆ 申込期限 令和6年3月26日(火)
- ◆ 問合せ先 笠懸公民館
〒379-2311 みどり市笠懸町阿左美 1581-1
TEL: 76-2211 FAX: 76-2836
メール: kouminkan@city.midori.gunma.jp



▲ラッピング列車

四季の会 二月句会

同じ箸同じもの食ふ春の昼
えんどうの苗霜よけにする枯芒
二人児を夫に預くや春カフエ
磯かまど海女が集ひて風の昼
自転車の子らを見送る犬ふぐり
下萌えやゑんこの吾子の尻ぬるる
うぐいすの鳴き声さがす夫の顔
梅の香の吾が身をつつむ借楽園
枯山水の庭の紅梅咲きだしぬ
和水仙香りて孫の来る便り
猫やなぎ芽吹きほのかな印旛沼
つくばいの薄氷を割る鴉二羽
ハンバーグ集ひて春の食事会
トタン屋根より出入りする春の猫
何となく春めき染むる四方の山
残雪の鳥海山や郷げしき
目覚めても首だけ出して春浅し
盆梅の花の紅白三分咲き
梅林の南公園ひと数多
春の風邪独りぼつちで粥する
福は内豆まく妻と二人きり
ワイングラス磨くバーテン春浅し
上等な生菓子とどく二月かな
下萌えや袋さげ行く犬散歩
大寒の水を使ひて味噌仕込む
わかさぎの釣りたて下げて亡父の友
「時代おくれ」唄ふカラオケ春やかた
紅梅のつぼみ膨らむ陽の光
ふきのたふ小さき芽のふく裏の庭
春の雪やれちよぼの歌こだまする
福寿草花の咲きだす庭の端
銭撒ひて厄を祓ふや風柔し
骨折の友を見舞ふや寒の明け

- 櫻本 千春
- 国木美代香
- 中野 千鶴
- 細川 由桂
- 山本 舞華
- 松島 陽春
- 平川 秋桜
- 佐藤由美香
- 高野 春蝶
- 泉 純佳
- 金井 英磨
- 高野 光詢
- 糸井 梅光
- 川道ひさ女
- 前原 紫蘭
- 童 鳥海
- 細川 和勘
- 横倉 雅
- 韓 百日紅
- 新羅 光海
- 石原 青蓮
- 細川 和勘
- 徳田 夕子
- 宇野 順雪
- 糸井 初音
- 小林 狐一
- 山本 歌仙
- 小林 華笑
- 楳沢 春蘭
- 宇野由希子
- 村田 小町
- 宇野 勘大
- 金 光月



上毛かるた⑦

御朱印レディー

天下の義人 茂左衛門

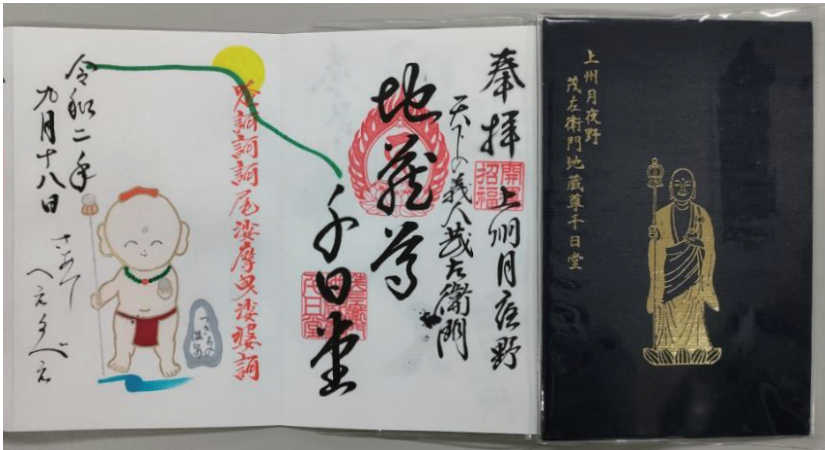
江戸時代、農民でありながら正義に命をかけた杉木茂左衛門。

当時の沼田藩では百姓から重い年貢を取り立て、納められない者は子どもから

お年寄りまで容赦なく罰しました。餓死する人や田畑を捨て逃げ出す人もたくさんいました。そこに救いの手を差し伸べたのが茂左衛門です。

藩主の悪業を書状にしたため幕府に直訴。皆が救われましたが、当時、直訴は重罪で処刑されました。

偉業を成し遂げた茂左衛門を祀るため、みなかみ町



▲茂左衛門地蔵尊千日堂の御朱印帳と御朱印

月夜野に「茂左衛門地蔵尊千日堂」が創建されました。御朱印は一枚一枚当時の様子の分かる絵が手書きで描かれ、その種類もたくさんあります。貴重な御朱印を書かれています人は、高齢になり今は直書きが難しく書き置きになつていと話していました。また、身代わりお守りが販売されていて、とても不思議な出来事があり、命が助かった

笠懸短歌サークル

一月例会より

小さき鍋にキャベツ一個を押し込み煮込めば手抜き暮の食卓
朝夕の琴のけいこに励みつつ新年会の初舞台待つ
母より伝はるおせちに加へ肉ダンゴローストビーフ孫へと添へる
早生みかんの収穫終へて味見せりお礼を込めて下草を刈る
新年に集ひし子らのスマホまでギャオギャオ鳴らし能登の悲劇は
孫と競ひ二重跳びせしかの冬を思ひ出しつつひとりの縄跳び

- 上村 征子
- 加藤 康子
- 久保田茂子
- 近藤ふさ子
- 関口 定夫
- 平山 勇



▲身代わりお守り

人がたくさんいるとテレビでも放映されました。いつも身に付けていた身代わりお守りが、何かあった時に身代わりになり姿を消す現象が何例も紹介されています。お守りが消えてしまった人は、再度買いに足を運ぶそうです。

ちょっと一息



最近「破戒」という映画を観た。原作は島崎藤村の小説で50数年前に読んだ記憶がある。明治期に書かれた作品だが、今もって現代社会に息づいている。

時は明治後期、身分による差別が日本中にあつた。主人公の丑松は被差別部落出身を隠し、山奥で教師をしていた。父から固く身分を隠せという戒めを受けて育ったが、

丑松は友が部落出身なのを隠さず生きていく姿に影響を受け、父からの戒

めを破り身分を明かし教員を辞して新天地へと旅立つていくストーリーだ。

江戸時代、身分制度は土農工商そして穢多・非人があつた。起源は平安時代といわれ、封建社会が確立されていく過程で政治的に作られたものという。

当時、人の死や血に関わる仕事をする人は穢れた存在として社会から疎まれていたようだ。

藤村は小説の中で当時の社会制度の暗部にメスを入れたのかもしれない。そして、ヒトには「無意識の偏見」があることを改めて痛感させられた。

(余)